

農林大学校だより

# sinrei 榛 黎

第73号

令和3年3月18日  
発行

群馬県立農林大学校

〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西明屋1005  
TEL: 027-371-3244 FAX: 027-371-6968  
<http://www.gunma-iaf.ac.jp>

絆を深めた  
2年間!



キックベースボール



ドッジボール

校内球技大会  
(令和2年11月11日)

## 明日を創る

校長  
桑原 雅美



2年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で前例のない学校運営となりましたが、皆さんは毎日の講義や実習に加えて、課題研究に、就職活動にとタイトなスケジュールの中で本当によく頑張ったと思います。

また、社会人コース、農業実践学校の専門技術課程を修了した皆さん、大変お疲れ様でした。皆さんの今後のご活躍をご期待申し上げます。

世界中の国や地域で猛威を振るう新型コロナウイルスの出現は、まさに、晴天の霹靂であり、私たちの暮らしを一変させました。校内に感染が広がれば寮を閉鎖し休業せざるを得ない状況の中で、皆さんが楽しみにしていた榛名登山や榛の木祭などの学校行事は中止となり、寮での生活も不便なものになりました。当たり前と思っていたことが、当たり前前にはできないもどかしさを多くの学生が感じたと思います。

当たり前前のことを当たり前にするには、どうすればいいのか。この「もどかしさ」こそが、明日を創る原動力になると思います。野菜でも花でもブロの生産者なのだから「上手に栽培できて当たり前」と言うのは簡単ですが、当たり前前にするのが、どれだけの努力がいるかを皆さんは肌で感じ学んだと思います。どんな状況下でも、どんなに障害があっても、当たり前前のことを当たり前前に行える人になってほしいと思います。

新型コロナ後の明日を創るのは皆さんです。創立100周年を迎えた農林大学校の卒業生として誇りを持ち、夢と希望のある新しい形の農林業を築き上げてください。期待しています。

## Let's challenge

後援会 会長  
柿沼 富之



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本校に入学してから2年の間、皆さんそれぞれの苦楽を共に経験し、多くの事を学ばれたことと思います。4月以降、次のステージに行かれるわけですが、今後は実績や成果を求められることが多くなります。

「人生ずっと勉強だ!」という人がいますが、その通りであると思います。そして、そこにはほんの少しのチャレンジスピリットとポジティブさがあれば、やっていくことができるでしょう。

豊かな人生ってなんだろう? どうしたら豊かな人生を送れるだろう? 自分の生き方って何だろう?・・・そんなことを考えてもいい年頃だと思います。今しか出来ないことがあれば、挑戦するのもいいでしょう。友人たちと語り合ったり議論するのもいいでしょう。こう考えると、やりたいことがありすぎて、時間が足りなくなります。いいんです、突っ走ることが若者の特権です。そして、新しい発見をして、次の時代を創造していただきたいと思います。

長い人生の中で、本校での2年は時間軸では短いと思います。しかし、今後の人生で必ず本校の同窓生や卒業生と再会し、励まし、称えあい、良き思い出を共有することとなるでしょう。

最後に農林大学校の教職員および関係者の方々のご指導により、2年間学生生活を送ることができ、無事卒業式を迎えられましたことを卒業生保護者を代表し、御礼申し上げますとともに、100周年を迎えた農林大学校の歴史に敬意と尊敬の念を捧げまして、卒業の祝辞とさせていただきます。

## 卒業おめでとう



野菜コース



花き・果樹コース



酪農肉牛コース



農と食のビジネスコース



森林コース



社会人コース

## 保護者からの一言



収穫を糧に、飛躍して

清水 豪紀

実は、私も農林大の卒業生の一人です。私の自宅は農林大の近所にあります。そんなこともあり、皆さんの姿は、毎日拝見していました。早朝からの花の灌水、野菜の収穫、乳牛の搾乳など、真夏の炎天下でのビニールハウスの中や日陰のない圃場での作業、辛い時もたくさんあったことでしょう。その反面、自分たちで育て上げた作物を収穫した時の喜びも、ひとしおだったことでしょう。

農林大の醍醐味は寮生活です。まったく知らない方との共同生活である寮生活では、楽しかった思い出がたくさんできたことでしょう。その中でも人としての助け合いや尊重など、いろいろと収穫できたのではないのでしょうか。

農林大での2年間、多くの収穫があったはずですが、これから新しい道を歩いていくわけですが、それぞれ収穫したものを糧に大きく飛躍してください。



卒業おめでとう

櫻井 実

親元から離れ、人生初の寮生活。週末、自宅に戻り、うれしそうに話す学校や寮での出来事。良い仲間恵まれ、楽しく学校生活を送ることができて、本当に良かったですね。仲間たちと過ごした楽しい時間は、これからの人生において、かけがえのない宝物になると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で休校や学校行事の開催中止などありましたが、この2年間で多くのことを学び、経験をさせていただきました。春からは社会人として、そして一人の大人として生きていかなくてはなりません。その中で、辛く苦しいことなど、大変な経験をすることもあると思います。ただどんな時でも、農林大で学んだことや経験したこと、そして、大切な仲間が力になってくれるはず。いかなる困難にも負けることなく、高い志を持って頑張ってください。2年間温かく見守り、ご指導くださいました教職員の皆様、お世話になった全ての方々に心より感謝申し上げます。

## 学校生活の思い出



野菜コース2年  
加藤 凱

私が学校生活で一番思い出に残ったことは、「寮生活」です。私はもともと人見知り、積極的に人に話しかけるのが苦手でした。なので、寮生活を送るのがとても不安でした。しかし、約1年間みんなと寮生活を送ることで、以前より積極的に明るい自分になることができました。友達と暮らしを共にすることで、普通の生活では味わうことのできない、毎日がお泊り会みたいな寮生活の良い部分に触れることができました。分かり合えない時は喧嘩したり、でもいつの間にか仲直りして笑い合っていたり、そんな日々が私は大好きでした。

一人ひとりが違う個性や感性を持っていて、一緒に生活をする中でぶつかり合うこともありましたが、最後には「お互いがお互いを認め合うこと」が大切で、それを学ぶことができたと思います。これからも、寮生活で培った経験や人間性を活かしていきたいです。



花き・果樹コース2年  
小林 七菜

この2年間、私は楽しい日々を過ごしました。1年目、初めて会う仲間たちと共に寮生活をしました。最初は男子と共用の寮で過ごすことになり、なぜ私は女子寮ではないのかと不安でしたが、たくさんの仲間と話しかけてもらい、素敵な友達と先輩に出会えました。舎監さんとも仲良くなれたので、今では良かったと思います。今年は、多くの学校行事がなくなり、授業開始も遅れました。コースで過ごす時間が多くなりましたが、コースの友達との仲は深まりました。花き・果樹コースは元気で個性的で不思議な仲間の集まりです。絵のセンスが高く、ホワイトボードに色々な絵を描きます。ノリが良く、笑顔であふれています。課題研究発表会前は、皆で遅くまで残って準備したことも今では良い思い出です。私は花き・果樹コースで過ごせて良かったです。素敵な仲間に出会えたことを感謝しています。ありがとう。



酪農肉牛コース2年  
高橋 直行

農林大学校酪農肉牛コースに入学した自分には、何もかも初めての事でした。1年生の前期では、講義の中で普段聞き慣れない単語が多くでたり、実習では見慣れない機械を覚えたりするのが大変で、とても忙しい日が多かったです。1年生の後期は、榛の木祭があり、楽しい時期でもありました。自分は、榛の木祭当日より準備をしていたのが楽しく感じました。仲間とともに意見をだし、方針を決めて実行に移す過程がコースで一丸となって頑張れたと感じます。

2年生になると、新型コロナウイルスの影響で1年生は入学延期になったり、自分たちも自粛生活をしなければならぬ等、イレギュラーな年になりましたが、この2年間で多くの経験をさせてもらいました。

まだ先の見えない世の中ですが、身につけたものを無駄にせず今後も頑張っていきたいと思います。



社会人コース  
篠原 久雄

農林大学校社会人コースで1年間、農業経営学や作物栽培学と農業実習を通して知らなかった技術や疑問を理解することができました。そして学習する中でクラスの仲間と協調して努力することの大切さを感じると共に楽しい思い出となりました。

農業経営学の体験授業では、農家や農業法人を訪問して施設を見学しながら運営の説明と経営理念を伺うことができたことは、これから農業経営を始める私にとって最高の収穫でした。この経験を活かして農業活動を行って参ります。

学校行事では、コロナ禍で唯一開催された校内スポーツ大会で同じ野菜コースの仲間とできたことが一番の楽しい思い出です。めいっぱい楽しむことができました。

建設の企業活動の中で40年過ぎた転機として農業を選び、農林大学校で学べたことは最良の選択でした。



農と食のビジネス  
コース2年  
濱 広夢

私は高校が普通高校だったのでこの学校に入学するまで、寮生活や実習などの不安でいっぱいでした。

でも入学して生活してみると、寮の生活は案外楽しく、実習では知らない知識や用語もいっぱいでしたが、とても充実した日々でした。

そしてその生活の中で、かけがえのない仲間たちと出会うことができました。準備に多くの時間をかけ成功させた「榛の木祭」、みんなで協力し勝利を掴み取った「体育祭」と「球技大会」、行事だけでなく普段の学校生活でも多くの仲間を支えられて2年間の日々を送ってきました。この2年はこの仲間たちじゃなきゃできなかったことだと思います。

素晴らしい仲間たちとの出会いをくれた農林大に感謝して、学んだことをこれからの社会人生活に活かし、誇りある農林大卒業生として頑張っていきたいです。



森林コース2年  
富澤 ゆめの

最初は長いと思っていた2年間は、過ぎ去ってみると驚くほどあっという間で、ついこの間入学をしたような気がしてきます。そんな学校生活の思い出は、短くても語り尽くせないほどありますが、その中でも特に思い出に残っているのは、伐倒実習時のお昼ご飯です。

食堂の方が朝早くから作ってくださったお弁当と、持参のカップラーメンをいただきます。普段食べているご飯ももちろんおいしいのですが、山で伐倒後に同級生と笑いながら食べるお弁当とカップラーメンは、格別においしいものでした。今年はそんな何でもない日常が、どれだけ楽しく有意義なものだったかを、誰もが身をもって感じる1年になったと思います。そして今、農林大学校で学んだことすべてを自分自身の糧とし、群馬県のこれからの支える小さな一つの力として、精進していきたいと思います。2年間ありがとうございました。

## 在校生からのメッセージ



偉大な先輩たちへ  
野菜コース1年 竹ノ内 耀

先輩の皆様、ご卒業おめでとうございます。私たちが入学して間もない頃の農業実習は、とても大変で、摘心する葉がわからなかったり、収穫するサイズがわからずに行きました。そんなときに、丁寧にわかりやすく教えてくれてありがとうございました。先輩たちは、常に作業効率が良く、私たちはその速さに追いつこうと頑張りましたが、一度も追い越すことができず、先輩たちの偉大さを実感しました。先輩たちが卒業した後、私たちは先輩たち以上に偉大な先輩になれるよう頑張ります。もし、榛の木祭が開催されたら成長した私たちを見に来てください。先輩たちはこれから社会人として農林大学校で得た知識を生かして頑張ってください。そして、いつまでも私たちの目標である、偉大な先輩たちであり続けてください。これからのご活躍をお祈りしています。



先輩たちの教を忘れない  
花き・果樹コース1年 池田 陸

ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行の中、先輩たちの就職等の進路が無事に決まり、新生活を心待ちにされているのではないのでしょうか。私たち1年生は、6月下旬の入学となり、先輩たちと接する機会は少なくなってしまいましたが、特に果樹専攻の先輩たちには、大変お世話になりました。リーダーとしてコースや専攻を引っ張ってくださった大坪先輩、とても面白く、みんなを笑顔にしてくれた岩崎先輩、実習でいつも優しく指導してくださった清水先輩、3人の先輩たちには本当に感謝しています。これから先、社会人になると辛いことがたくさんあるかもしれませんが、農林大で培った気力、体力を活かしどんなことにも負けない先輩たちでいてください。私たちも先輩たちの教を忘れず、頑張りたいと思います。



今までありがとう  
酪農肉牛コース1年 折茂 緋真理

ご卒業される先輩たち、この度は誠にありがとうございます。酪農肉牛コースの実習では、分からないことや作業のやり方、上手に素早くする方法など、たくさんを教えてくださいありがとうございました。先輩たちの丁寧な指導のおかげで、初めてのことで、少しずつできるようになりました。今後は、先輩たちのように作業を正確に効率良くできるよう頑張りたいです。また、優しく接してもらえてうれしかったので、私に後輩ができた時は、先輩たちのように穏やかに教えていきたいです。農林大学校を卒業されて、夢や目標に向かわれることを応援しています。怪我や病気がなく、幸せで楽しい日々を過ごされることを願っております。様々なところでお世話になりありがとうございました。これからも頑張ってください。



ご卒業おめでとうございます  
農と食のビジネスコース1年 諸星 風輝

2年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、私たちの入学が遅れてしまったことで、先輩たちと関われる機会は例年より少なくなってしまいました。先輩たちも体験学習の延期など大変だったと思います。そんな中、先輩たちと共に過ごせた時間は私たちにとってとても大切な財産となりました。入学して間もないころは、学校のこともわかりませんでしたが、先輩たちの教を参考にし、先輩たちの背中を追いかけ、私たちはここまで来ることができました。これからの人生大変なこともあるかとは思いますが、私たち後輩は先輩たちの今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。そしてまた、お会いできる日を楽しみにしています。



先輩たちから学んだもの  
森林コース1年 上原 瑞生

2年生の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。短い間でしたが、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の影響により、行事や授業で顔を合わせる機会も例年に比べ少ない1年でした。数少ない関わりの中でも、特に印象に残るのは、課題研究発表会でした。先輩たちの発表している姿はとても頼もしく、日々の研究の熱意を感じられるものばかりで、広い視野で物を見る大切さや生き物との共存など、今までよりも新たな考えに触れることができました。農林大の森林コースで学んでいてよかったと思える瞬間でもありました。先輩たちから感じた熱意や頼もしさなどを、今度入学してくる1年生たちにも見せられるよう努力していきたいと思います。最後に、先輩たちのますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

# 農林大の一年

6月



トラクター研修  
野菜コース1年 山口 康太

トラクター研修は、農耕車限定大型特殊免許を取得できる研修です。トラクターを運転する実践の授業と、座学によってトラクターのパーツや作業中の危険性について学ぶ授業に分かれています。特に実践の授業では苦労しました。本番の試験に向けて、2種類のコースを覚えて、指示通りの動きをしなければならないのですが、2種類のコース共に少し複雑なコースになっているので覚えるのがなかなか大変だったことが印象に残っています。ですが、トラクター研修の先生方の指導や、自分でコースを歩き覚えるよう努力した結果、無事免許を取得することができました。先生方の指導はもちろん良かったです。私はこのトラクター研修で、自分自身で行動することを学び、また一歩成長することができたと感じています。

10月



イオン販売  
農と食のビジネスコース1年 岩井 諒太郎

イオンでの実習販売は、農と食のビジネスコースが学習の一環として取り組んでいます。今年度は、コロナの影響で2回の開催でしたが、販売に向けた準備が大変であることを学びました。商品の開発から原価の計算、接客の仕方、レジスターの使い方など多くの準備が必要でした。商品開発では、農林大産の野菜や麦、果樹を使用した「マフィン」や「クッキー」を作り、販売しました。お客様においしく食べてもらうために、何回も試作をし、満足度のいく商品を作ることができました。当日は、多くの消費者の方に訪れていただき、私たちはニーズや課題を学びました。翌週には問題点を話し合い、皆で共有しました。次回の販売実習に活かし、さらに良いものにしていきたいと思ひます。製造だけでなく販売までの体験は大変でしたが、楽しかったです。

11月



球技大会  
酪農肉牛コース1年 猪山 蓮

新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの行事がなくなり、他のコースの生徒と交流の場がなくなってしまいました。退屈していた私にとって、急遽企画されたこの行事は、とても刺激的で忘れられないイベントになりました。私はドッジボールに参加し、前線でボールを投げていましたが、サポートしてくれた先輩たちの普段見られない格好いい姿が印象的でした。私も懸命にボールを投げ続けましたが、善戦空しく、2回戦で負けてしまいました。私の試合が終わったので、同じコースの友人の応援をするため、キックベースの会場に向かいました。いつもとは違う生き生きと走る友人たちの姿に、私も熱くなり必死で声をあげました。負けた口惜しさも、応援で出した歓声も、次の日の筋肉痛も、今となってはいい思い出です。

12月



校内直売  
花き・果樹コース1年 齋藤 陽太

12月4日・11日の2日間、シクラメンや野菜などの即売会が盛大に開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年とは異なる形となりましたが、多くの来場者で賑わいました。そのため用意したシクラメンやバラなどが瞬間に売れてしまい、お客様にはご迷惑をおかけいたしました。フェイスシールドや手袋をしてお客様とのコミュニケーションが取りにくく大変でしたが、仲間と協力してしっかり販売することができ、農林大学校の魅力をPRできました。自分たちが一生懸命育てたものが、お客様の手に直接届くのを見るのは、とても達成感がありました。私自身も事前準備等を含めて、くたくたになりながらも、一つのイベントをやり遂げることができ、ひと回り成長することができました。

12月



課題研究発表会  
森林コース1年 東 知樹

昨年、文化会館において課題研究発表会があり、先輩たちの発表を聞きました。発表内容は、6次産業化の取り組みや、新技術の導入、食品の加工など、難しい課題に取り組む先輩や、自宅の農業を対象に取り組む先輩もいました。どの発表も、分かりやすくまとめられており「先輩たちはすごいなあ」と感動しました。私は、「下刈り」作業の期間短縮や、鳥獣被害軽減などが期待されている早生樹で、材質等にも優れているセンダンの苗木の栽培について取り組みたいと考えています。研究に費やせる期間はおよそ1年で、最後の山場である卒業論文へとつながっています。先生や先輩方のアドバイスを聞き、気を抜かずに取り組むたいと思っています。そして、林業事業者にも少しでも役に立つ結果を出すのが私の目標です。

# 職員からの贈る言葉



出会いは宝！  
つながりの輪を広げよう！

花き・果樹コース長  
相澤 直

皆さん、卒業おめでとうございます！充実した2年間を過ごすはずが、思い描いていたようにいかないことが多かったかもしれませんね。でも、皆さんは、ここでたくさんの仲間と出会いました。農林大でなければ出会えなかった仲間。かけがえのない宝だと思います。私も学生時代や仕事、趣味などを通じて、たくさんの方と出会いました。今はそのつながりを頼りに仕事や趣味など、様々な場面で協力してもらっています。皆さんの体験学習受け入れや課題研究の助言もその一つです。皆さん、卒業後も様々なことに関心を持ち、たくさんの方と出会ってください。そして、たくさんの方とつながってください。これからの人生でいつか必ず助けになります！私にとって、皆さんとの出会いも大切な最高の宝です。「出会いは宝！」皆さんも仲間との出会いを大切に、つながりの輪を広げてみよう！



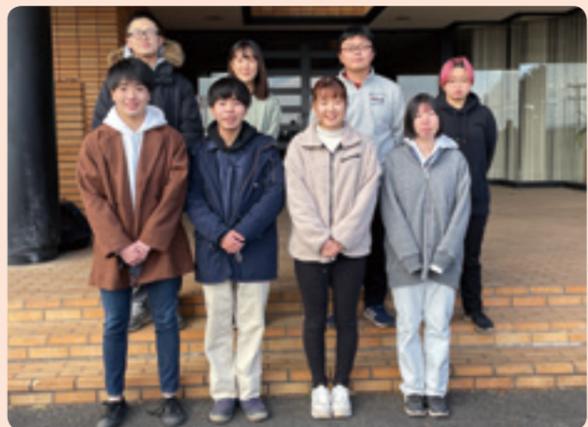
卒業生の皆さん、ありがとう

森林コース長  
後藤 義臣

ご卒業おめでとうございます。農林大での2年間はとても短かったことでしょうか。今年度は行事の多くが中止となり、さみしい年になってしまいましたね。そう考えるとちょっと可哀想な気もします。でもごめんなさい。私はとても勉強になりました。それは、我が子ではない皆さんと過ごすなかで、一人ひとり伝え方を工夫しなければならないんだな、とか、違う言葉を掛けるべきだったんだな、というような気づきの場面が多かったからです。皆さんにとっては、先生からの一方的な言葉だったかもしれませんが……。さあ若者よ。早めに寝て、起きて、遅刻しないように。それからよくご飯を食べるようにね。畑も山も、道路や会社も危険がいっぱいです。どうぞ油断せずに立ちまわり、幸せな人生を得てください。給料をいっぱいもらって楽しんでください。ご健闘をお祈りします。

## 自治会役員の紹介

今年度は、新型コロナウイルスの影響で行事や団らんといった機会などが減ってしまいました。そのため、この状況下でも楽しめる企画作りに取り組み、より充実した学校生活を送れる環境を整えられるよう精一杯励みます！



書記猪山蓮	会計田愛美	会計原春樹	会計石井裕菜	(後列右から)	副会長山崎貴満	副会長植木秀俊	副会長中島麗奈	副会長上原瑞生	(前列右から)
-------	-------	-------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

## 学校案内

### ●スマート農業機械の導入

国の「農業労働力確保緊急支援事業」を活用して、農業現場における即戦力となる人材の育成を目的に、GPS機能(直進アシスト)を搭載した大型トラクター2台、トレーラー2台、半自動移植機1台及びラジコン草刈機1台を導入しました。機械は、主に研修部が主催する各種研修において利用し、農耕車限定の大型特殊自動車運転免許・けん引免許の取得及びスマート農業の学習を推進します。

最新のICT及びIoTを活用した農業機械の学習により、群馬県の将来の食農産業を支える人材の確保・育成の加速化を図ります。



GPS機能を搭載したトラクター



トレーラー



ラジコン草刈り機



半自動移植機

# 研修部

## ぐんま農業実践学校

農林大学校では、群馬県内で就農を志す方を対象に「ぐんま農業実践学校」を開校しています。「ぐんま農業実践学校」では、実習を中心とした研修を行い、ニーズに合わせた様々なコースの中で、農業に関する知識や作物栽培に必要な基礎知識、農業経営に必要な知識を学び、これらに関する技術等の取得を目指します。

令和2年度は延べ149名の方が入校決定しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、春夏野菜（平日・日曜）コース、露地ナスコースおよび秋冬ネギコースが中止になりました。

野菜専門技術課程をはじめ、開校した課程・コースでは20代から70代までの幅広い年齢層の方が、新たな農業の担い手を目指して学びました。日々の実習では、研修生が協力して行う農作業が多くあるため、連帯感が生まれ、かけがえのない仲間をつくることができました。修了後、研修生は県内各地で就農し、高齢化や担い手不足などに直面する本県農業の活性化に向けて、地域農業の担い手としての活躍が期待されています。

令和2年度の実績は表1のとおりです。



表1：令和2年度「ぐんま農業実践学校」実績

課程・コース	定員	入校者数
野菜専門技術課程	20名	21名
野菜基礎技術課程	春夏野菜平日コース	22名※
	春夏野菜日曜コース	22名※
	秋冬野菜平日コース	15名
	秋冬野菜日曜コース	20名
推進品目課程	露地ナスコース	7名※
	秋冬ネギコース	7名※
トラクター操作講座	10名	22名
農業体験講座	8名	15名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため開校中止

## 研修生の言葉



ぐんま農業実践学校  
野菜専門技術課程  
長沼 孝則

コロナ禍による緊急事態宣言を受け、学校は3密をさけるために2チームに分けた分散登校で、6月から始まりました。リモートでは農業を実践的に学べないので、私たち受講生のために授業形態を工夫して開講してくださった先生方には、感謝しかありません。

集まった同級生は年齢も今までの仕事も、背景も様々でした。しかし、農業を実践的に学びたいという共通項がある私たちは、こんな時だからこそ充実した学びの1年にしよう取り組みました。今年の困難さは、きっと例年の受講生の方々以上に私たちの絆を深くさせたと思います。アフターコロナになったら、時を戻して盛り上がるに違いありません。その時には、食を支えるエッセンシャルワーカーとしての自負をもち、ここで学んだことを活かして、農業経営に全集中の呼吸で取り組んだことを報告できるように私も頑張ります。

ああ、、、でも榛名登山も榛の木祭もなかったのは、ぴえん(悲しい)

## 農業機械研修

本校では、農作業機械に関する研修として、農林大学校学生を対象とした大型特殊免許（農耕車に限る）の取得に関する「大型トラクター基礎研修」を実施しています。研修は、校内に設置されている運転練習コースにおいて、大型トラクターの基本操作と安全な道路走行を学び、研修最終日に実施される技能試験に合格すると免許取得となります。

また、研修カリキュラムには、トラクターにおける作業機の脱着・調整およびロータリー耕等の実践的な内容も取り入れています。令和2年度も数多くの学生が免許取得に関わる研修を受講し、免許を取得しました。

この他、けん引免許（農耕車に限る）を取得する「大型トラクターけん引研修」や農業機械の日常メンテナンスを学ぶ「農業機械整備研修」といった数種の研修を実施し、各種免許の取得と農作業機械の安全な取扱いを支援しています。

令和2年度の実績は表2のとおりです。



表2：令和2年度大型トラクター研修（学生のみ）実績

研修名	実績		
	実施回数	受講者	合格者
免許取得研修	回	人	人
大型トラクター基礎研修	4	69	69
大型トラクターけん引研修	1	18	18